

紙芝居講座 九州大会

柳田多聞

六月三十日（日）福岡県の春日市で「二〇一九年紙芝居文化の会紙芝居講座九州大会」が開かれました。福岡・大分・宮崎・熊本・鹿児島・長崎から有志が集って実行委員会を立ち上げました。テーマは「九州から世界へ 広げよう紙芝居文化」。身近な地域にも遠い世界にも紙芝居が大切になっている思いが文化として広がってほしいという願いを込めました。

当日は九州全域に大雨警報が出る悪天候にもかかわらず、約二百六十名の参加者で会場はいっぱい。日下部茂子さん、松井エイコさんのわかりやすく親しみやすいお話に、皆さん熱く耳を傾けていました。「演じてみましょう！」のコーナーでは、九州各県から文字通り老若男女の個性豊かな演じ手たちが集まりました。講師のお二人から頂いたコメントは会場の参加者にも参考になることばかりでした。

「各県の活動報告」では、地域での地道な活動から海外での活動まで様々な試みが紹介されました。「世界KAMISHIBAIの日に向けてー平和の輝きをー」では、スペシャルゲストの童心社の田中正美社長が『おおきくおおきくおおきくなあれ』を中国語で演じ、会場のみんなも中国語で参加したのも楽しい思い出になりました。

参加した誰もがご自分の活動を後押しされた、そんな講座になったと思います。

（運営委員・長崎）

会場いっぱいの参加者



演じ手へのコメント

